

(様式2)

平成18年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,880	16,723	△ 157	(注1)
施設整備費補助金	1,890	1,858	△ 32	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	117	216	99	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	68	68	-	
自己収入	20,186	21,053	867	
授業料、入学料及び検定料収入	5,362	5,210	△ 152	(注4)
附属病院収入	14,695	15,667	972	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	129	176	47	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,863	2,266	403	(注7)
長期借入金	7,469	7,469	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	437	637	200	(注8)
計	48,910	50,290	1,380	
支出				
業務費	33,909	33,057	△ 852	(注9)
教育研究経費	18,984	18,115	△ 869	
診療経費	14,925	14,942	17	
一般管理費	2,021	1,817	△ 204	(注10)
施設整備費	9,427	9,395	△ 32	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	117	216	99	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,863	2,183	320	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,573	1,524	△ 49	(注14)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	48,910	48,192	△ 718	
収入-支出	-	2,098	2,098	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階で見込んでいた前年度よりの繰越金が、予定額より少額であったため、予算金額に比して決算金額が157百万円少額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、工期の延長に伴い交付額を翌期に繰り越した等の理由で、予算金額に比して決算金額が32百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった事業収入があったため予算金額に比して決算金額が99百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在学者数、入学志願者数が予定より減少したため、予算金額に比して決算金額が152百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、外来診療稼働率の向上に努めた事により予算金額に比して決算金額が972百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、学内施設利用稼働の向上に努めたことにより予算金額に比して決算金額が47百万円多額となっております。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が403百万円多額となっております。
- (注8) 予算段階では予定していなかった、目的積立金による教育研究支援及び組織運営改善のための予算執行があったため、予算金額に比して、200百万円多額となっております。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において、効率的な執行に努めたため、予算金額に比して決算金額が852百万円少額となっております。
- (注10) 経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が204百万円少額となっております。
- (注11) (注2) で示した理由により、予算金額に比して決算金額が32百万円少額となっております。
- (注12) (注3) で示した理由により、予算金額に比して決算金額が99百万円多額となっております。
- (注13) (注7) で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が320百万円多額となっております。
- (注14) 施設整備借入金の借入れ時期の変更等の理由で予算金額に比して決算金額が49百万円少額となっております。